

平成21年度 学校自己評価表

栃木県立鹿沼商工高等学校・全日制

教育目標	身体を鍛え学習に励み、豊かな教養と人間尊重の精神とを身に付けた、国際的な視野を持つ産業人を育てる			
本年度の努力点	(1) 指導内容の精選と指導方法の工夫改善に心掛け、学習習慣の確立を図る。 (2) キャリア教育を踏まえた進路指導の充実を図る。 (3) 基本的な生活習慣の確立と規範意識を向上させる生活指導を徹底する。 (4) 生徒を常に教育の中心におき、学校の活性化に努める。 (5) 部活動やホームルーム活動、生徒会活動を充実させ、協力的な生活態度を育成する。			
評価基準	十分満足できる…A 概ね満足できる…B 努力を要する…C 一層努力を要する…D			
評価項目	重点目標	具体的取組	評価	
学校運営関係	教務	1 学校行事の効果的実施し授業時間を確保する。	○ 年間行事の精選を図る。 ○ 曜日毎の実授業日数表を作成し、学期・年間の平準化を図る。	B
		2 部・科・学年との連絡調整協力体制を確立する。	○ 各部・各科・各学年から意見を収集し、調整を図る。 ○ 行事の実施に当たっては、関係係との連携、緊密化を図る。	B
		3 学校評価をスムーズに実施する。	○ 評価計画に当たって、適切な評価項目を検討する。 ○ 学校評価を教育活動の改善に役立てる。	B
学習指導関係	学習指導	1 分かる授業を心掛け、授業の充実を図る。	○ シラバスが活用され、指導内容、方法の工夫改善を図る。 ○ 視聴覚機器を利用し、興味・関心を引き出す授業を展開する。	B
		2 自主的・意欲的な学習態度を育成する。	○ チャイムとチャイムを徹底する。 ○ 適切な課題等により、自学自習・家庭学習を定着させる。	B
	読書指導	3 図書館利用の活性化を図る。	○ オリエンテーションを充実させ、利用しやすい雰囲気を作る。 ○ 朝の読書を通して、読書習慣を身に付けさせる。	B
生活指導関係	生活指導	1 基本的な学校生活を確立させる。	○ 欠席・遅刻・早退指導を徹底し、登下校指導を実施する。 ○ 頭髪・服装指導を徹底し、学期毎の全体指導を実施する。 ○ 携帯電話の使用方法を徹底する。定期テストの預かり指導の実施。	B
		2 校則及び社会規範を遵守させ、望ましい生き方を身に付けさせる	○ 問題行動の未然防止に努め、発生件数、人数を減少させる。 ○ いじめ・暴力行為に関する指導を徹底する。 ○ 「駄目なものは絶対駄目」の共通認識と指導を徹底する。	B
		3 交通法規を遵守させ交通事故防止を図る。	○ 安全教育を実施し、事故防止の啓発に努める。 ○ 街頭指導や強化週間を有効に実施する。	B
		4 生徒理解を進め、適切な情報収集を図る。	○ 個人面接を通してコンサルテーション活動を充実する。 ○ ケース会議を実施し、チーム対応を強化する。	B
特活指導関係	生徒会	1 学校行事を充実する。	○ 生徒を学校行事に積極的に参加させる。	A
		2 生徒会活動を活発化する。	○ 生徒が主体的に企画運営できるよう指導する。	B
		3 庶務会計を整備する。	○ 会計を適正に行い、必要な記録を残すようにする。	A
	部活動	4 部活動を活発にする。	○ 一人一部加入を推進し、協力的な生活態度を育成する。	C
		5 LHRの充実と各種委員会を円滑に運営する。	○ LHR年間計画を充実させる。 ○ HR活動を活性化させる。 ○ 各種委員会の充実を図る。	B
		6 和親館の設備充実する。	○ 設備の充実を図り、利用を推進する。	C
キャリア教育関係	進路指導	1 将来のあり方・生き方について自覚を深めさせる。	○ 進路の手引きを積極的に活用し指導する。 ○ 進路ガイダンス・進路講話を通して、生き方を考えさせる。 ○ 進路内定後に次のステップの指導を行う。	B
		2 主体的な進路決定ができるようにする。	○ 進路講演会の充実を図る。(回数、内容) ○ 自分の進路を考えてインターンシップに取り組みさせる。	B
		3 職業の意義と自己の適正の理解を図る。	○ 1年次に職業ガイダンスを実施する。 ○ インターンシップや進路講話を通して、職業理解の深化を図る。 ○ 生徒面談を増やし、個別相談の充実を図る。	B
情報関係	情報部	1 情報教育を推進する。	○ 学校間ネットワークについて教員の理解を深め、メールソフト、掲示板システム等の使い方を講習会を実施する。	B
		2 マルチメディア機器、インターネットを利用した授業を促進する。	○ 学校HPを更新する。 ○ 視聴覚教材を用いた授業の研究会に参加する。 ○ インターネットを使用した授業の研究を推進する。	B
		3 情報機器の管理・整備を推進する。	○ 機器点検マニュアルを作成し実施する。	B
健康関係	健康指導	1 定期健康診断の結果により健康指導を徹底する。	○ 定期健康診断の受診、再検を徹底し、結果について関係職員との連携を図りながら指導を継続していく。 ○ 学校保健委員会を有意義に実施する。	B
		2 環境衛生に努め、安全意識の徹底を図る。	○ 施設・設備の校医による安全点検を実施し、事故防止に努める。 ○ 光化学スモッグ・熱中症等の有害環境条件被害の防止に努める	A

評価基準		十分満足できる・A	概ね満足できる・B	努力を要する・C	一層努力を要する・D	
評価項目	重点目標	具体的取組			評価	
環境関係	環境指導	1 環境美化の精神を育む。	○ 校舎内外の清掃を徹底し、ゴミの分別・減量に努める。 ○ 美化委員会の活動を推進する。			B
		2 学習環境を整備する。	○ 毎月の安全点検の実施し、施設設備を保持する。			A
		3 防火・防災体制を整備する。	○ 防火・防災訓練を有効かつ円滑に実施する。			A
渉外関係	PTA	1 保護者に学校の運営方針を理解してもらい学校の活性化を図る。	○ P T A 総会や保護者会の出席率をあげる。			B
		2 家庭・学校・地域との連携に努める。	○ P T A 活動に対し、積極的に保護者に参加してもらう。			B
		3 P T A 行事の内容の見直しに取り組む。	○ 現在の P T A 会則を見直す機会をもつ。			B
	同窓会	4 同窓会との連携のもと記念事業を円滑に実施する。	○ 同窓会と学校が連携を密にし、協力して取り組めるような体制を作る。			B
工業教育		1 基礎的・基本的な知識・技能を習得させる。	○ 座学の学習内容・方法を精選し、適切な指導を図る。 ○ 各種の資格や検定試験に対して積極的に取り組みを行う。			B
		2 さまざまな工業分野に対応できる能力や態度を育成する。	○ 新たな技術や技能を取り入れた内容を検討し、生徒の実態に即した方法や指導を図る。 ○ 「ものづくり」を意識した能力や態度を育成する。			A
		3 専門分野の学習を通して自己実現を図り、専門性の深化を図る。	○ 地域と連携した体験活動やボランティア活動を行う。 ○ 職員の積極的な研修の機会を図り、新しい専門技術や教育内容を取り入れる。			A
商業教育		1 基礎・基本的な知識および技能の習得させる。	○ 座学・実習内容を精選し、基礎・基本的な指導の徹底を図る。 ○ 宿題等による家庭学習の充実を図り、効果的指導の向上を図る。 ○ シラバスの活用および系統立てた科目ごとに指導内容の研究および工夫を図る。			B
		2 進路関係で希望成就に向けて、実践的・主体的な学習態度を養う。	○ 資格取得に向け計画的な科目指導・補習を充実させ、合格目標の達成を図る。 ○ 各種検定試験の日程・結果に対し担任・部活動顧問等の連携を図り、資格取得の意欲を向上させる。 ○ 校内外の商業関連行事に積極的な取り組みを行い、結果が出せる指導体制づくりの充実を図る。			B
		3 経済社会に柔軟に対応できるためのビジネスマナー・コミュニケーション能力および実践的能力の育成する。	○ インターシップを通して社会人としてのマナーを身につけさせ、異世代とのコミュニケーション能力の向上を図る。 ○ 総合的学習分野によるマナー教育の充実およびコミュニケーション能力の育成に努め、販売活動等の実践的な活用能力の育成を図る。			B
		4 国際経済科の閉科に対する取組を充実する。	○ 閉科に向けて計画的に実施し式典を成功させる。			B

学校関係者評価及び今後の課題	<p>1. 授業時間の確保について、国等の方針もあると思うが、土曜日の授業を復活できないものか。</p> <p>2. 資格取得について、本人の進路での要・不要はともかく、色々な資格を取ることは生涯にわたって大切なことである。生徒が夢をもって取り組めるようお願いしたい。</p> <p>3. 学校の全体としての指導の中で、「なぜ、こうした方が良いのか」「なぜダメなのか」等の説明を保護者も含めご指導頂きたい。学校と保護者の共通理解が必要では。</p> <p>4. 生活指導について、問題行動の未然防止に努めてほしい。発生件数の減少はもちろんだが、内容が問題。</p> <p>5. 部活動について、部加入を推進するのであれば、顧問の指導力も含め子供達がもっと頑張れる環境整備が必要ではないでしょうか。</p> <p>6. 学校評価について、各部門での努力がよく理解できたとし、適切に評価が行われている。</p> <p>7. 人としての基礎基本を重視し、心の教育を推進してほしい。</p> <p>8. 学校の広報活動について、地域のメディア・企業・保護者等どこでも連携していく必要がある。</p> <p>9. ボランティア活動について、市内で行われるイベントの中で参加できそうなものを選び、参加することにより生徒の視野が広がると思う。</p> <p>10. 生徒アンケートの中で、「悩みの相談にのってくれる」が半数割れが気になります。先生方も忙しく限界もあると思いますが、何とかしてあげて欲しいと思います。</p> <p>11. 子供達には、まだまだ子育てが必要であることを機会があるごとに保護者の話して欲しい。</p> <p>12. 定時制の子供たちにも、学生時代にしかできない思い出が出来るようにご配慮をお願いしたい。</p>
----------------	--